

保健事業報告

健幸まちづくり推進協議会資料

事業	令和4年度まとめ	令和5年度計画
母子保健事業	<p>1. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診 対象者 159人 受診者157人 受診率98.7% 乳児後期健診 対象者 150人 受診者149人 受診率99.3% 1歳8ヵ月児健診 対象者 159人 受診者159人 受診率100% 2歳5ヵ月児健診 対象者 170人 受診者166人 受診率97.6% 3歳5ヵ月児健診 対象者 198人 受診者195人 受診率98.5%</p> <p>2. 健康相談・健康教育事業 子育て相談 参加者 延339人、離乳食教室 参加者 延35組 1歳すくすく教室 参加者 延31組 ハッピー親子教室 参加者 延60組 パパママ教室 参加者 延32人(パパ14人・ママ18人)</p> <p>3. 家庭訪問(延) 妊産婦 167人 乳児期 164人 幼児46人 その他 63人</p> <p>4. 予防接種事業 BCG138人 4種混合 583人 2種混合 183人 MR1・2期 335人 ヒブ603人 小児肺炎球菌 602人 日本脳炎1期 646人 日本脳炎2期 297人 水痘303人 ロタ 336人 B型肝炎 454人 子宮頸がん 471人 風しん抗体検査 85人 風しん5期 24人 風しん予防接種助成 19人(うち男性1人)</p> <p>5. 産前産後支援 母子手帳交付 150件(双胎2件) 妊婦面接(転入者含む)162人 マタニティ訪問(希望者のみ) 58人(産後訪問含む) 電話ヒアリング 14人 妊婦歯科健診 61件 妊婦健診受診実人数 223人 延1,728件 産婦健診受診実人数 140人 延258件 産後ケア利用者 6人 延16人</p> <p>6. その他 不妊治療給付 70件(延)、38人(実)(うち男性1人) フッ素塗布 153人 養育医療実人員 6人、延9件</p>	<p>1. 産前産後支援 妊娠届出時全数保健師等の面接を行う。 希望者にはオンライン(ZOOM)による面談、相談実施。 妊婦健診、妊婦歯科健診、産婦健康実施。 令和5年度より、新生児聴覚検査費助成を開始。 産後ケア事業継続実施。 産前産後サポート事業(マタニティ訪問)実施。</p> <p>2. 乳幼児健康診査事業 乳児前期健診、乳児後期健診、1歳8ヵ月児健診、 2歳5ヵ月児健診、3歳5ヵ月児健診を毎月実施。</p> <p>3. 健康相談・健康教育事業 子育て相談: 予約制で4保健福祉センターで毎月1回実施。 離乳食教室: 毎月1回実施。(令和5年度より、試食を再開) 1歳すくすく教室: 年4回実施。(令和5年度より、試食を再開) ハッピー親子講座: 5回シリーズを年3回実施。 パパママ教室: 2回シリーズを年3回、日曜日に実施。</p> <p>4. 家庭訪問 妊産婦から乳幼児までの希望される方必要な方に訪問を実施。 赤ちゃん訪問は全数訪問実施。</p> <p>5. 予防接種事業 個別接種を実施。 BCG、4種混合、2種混合、MR1期、MR2期、水痘、 ホリオ(不活化)、日本脳炎Ⅰ期Ⅱ期、ヒブ、小児肺炎球菌、ロタ B型肝炎、子宮頸がん、風しん5期 風疹予防接種費用助成</p> <p>6. その他 フッ素塗布、養育医療給付事業、不妊治療給付事業の継続 実施。</p>
成人・老人保健事業	<p>1. 市民健診(各種健康診査、がん検診) 各がん検診と特定健診等のセット検診実施:23日間(内、休日1日) 歯周病予防健診:30歳から70歳の間の5歳刻みの方に実施 407人受診(受診率12.8%) 後期高齢者歯科健診:満75歳の方に実施(嚥下機能評価も実施) 69人受診(受診率16.7%) 骨粗しょう症健診:超音波による骨密度測定と栄養指導255人受診</p> <p>2. 健康教育、健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 2回シリーズ 実42人 糖尿病重症化予防事業(74歳以下)3人 市民健診結果報告会 30カ所 実711人 特定保健指導 積極的支援 5人、動機づけ支援 28人 その他出前講座 2回 延24人</p> <p>3. 各種運動教室 健康プール教室 24回×2コース 延474人 健康運動教室 2回 延35人</p> <p>4. 介護予防教室 はつらつ筋トレ教室 25回×1カ所、24回×3カ所 延1,344人 体力測定会 4会場 延122人 介護予防サポーター養成講座の開催 実23人 介護予防サポーター研修会 2回 延69人</p> <p>5. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会 2回 3人</p> <p>6. 精神保健事業 睡眠講座(明治国際医療大学共催) 基礎編・実践編 延35人 市ホームページ等での自己チェックシステム『こころの体温計』 アクセス数 延5,550件</p> <p>7. 予防接種 高齢者インフルエンザ 6,490人(59.2%) 高齢者用肺炎球菌273人(20.0%)</p> <p>8. 後期高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室(低栄養・オーラルフレイル・ロコモ予防) 12カ所 延185人 後期高齢者の低栄養予防個別指導 11人 後期高齢者の糖尿病重症化予防個別指導 1人 健康状態不明者への対応 113人</p>	<p>重点目標⇒「ひとりひとりの健幸を高めよう」 ①切れ目のない減塩指導で、高血圧を予防する ②糖尿病および糖尿病生腎症の予防 ③健康づくりに向けた、運動習慣定着の推進</p> <p>1. 市民健診 個別乳がん検診・個別子宮頸がん検診:5月～12月実施 個別特定健診・すこやか健診:5月～9月実施 *個別(医療機関での健診) 集団検診(特定健診・すこやか健診・肺・胃・大腸・子宮・乳がん 検診のセット検診):4月～5月 歯周病予防健診:7月～12月、30～70歳の5歳刻み節目 後期高齢者歯科健診:7月～12月、75歳対象 骨粗しょう症健診の実施</p> <p>2. 健康教育・健康相談 CKD(慢性腎臓病)予防教室 糖尿病重症化予防事業 市民健診結果報告会 特定保健指導</p> <p>3. 介護予防教室 はつらつ筋トレ教室(75歳以上対象) 7～2月各地区にて週1回 体力測定会、体力測定会の結果報告会 11月に各2会場 介護予防サポーター養成講座の開催 介護予防サポーター養成講座修了生(元気アップなんたん)の支援</p> <p>4. 受動喫煙防止対策・禁煙支援 禁煙相談会:保健師と薬剤師による個別相談 2回 健康教室等で啓発物品配布</p> <p>5. 精神保健事業 睡眠講座の実施(基礎編、実践編) 市ホームページ等の自己チェックシステム『こころの体温計』</p> <p>6. 予防接種 高齢者インフルエンザ 高齢者用肺炎球菌</p> <p>7. 高齢者のフレイル予防 通いの場でのフレイル予防教室の実施 低栄養、糖尿病重症化予防の個別指導 高血圧未治療者対策 健康状態不明者への対応</p> <p>8. 情報発信 健康情報の発信 ・「減塩」「野菜の摂取促進」等テーマを決めて献立を作り、レシピ を配架 ・市の広報誌「広報なんたん」にテーマを決めて情報提供 ・「南丹市ホームページ」「南丹市Line」を活用した情報提供 ・健幸ポイント事業「カラダカルテ」のアプリを通じて情報提供フレ イル予防、感染予防等の放映 ・ホームページでの健康情報の発信</p>

事業	令和4年度まとめ	令和5年度計画
健幸都市関係プロジェクト	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 11月2日開催 受講者40人(R3:21人)</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2022」参加者1,118人 健幸都市応援事業所 7事業所</p> <p>R3年度よりデジタル化し、2年目の実施。 活動量計やスマートフォンを身に付けて、健診受診やウォーキングや健康づくりに関するイベントなどに参加することでポイントを貯め、貯めたポイントを商品券に交換できる仕組みづくりを行った。 R4年10月とR5年3月にバーチャルウォーキングイベントを実施。各イベント800人あまりの方が参加された。 R5年2月末のポイント交換会(南丹市国際交流会館)は469人の方がポイント交換に来られた。</p>	<p>1. 健幸アンバサダー養成講座 8月10日午後 開催 定員100人</p> <p>2. 健幸ポイント事業 「なんたん健幸ポイント2023」定員1,000人 健幸都市応援事業所 7事業所</p>
献血事業	<p>安全で持続可能な血液供給体制を構築するための献血思想の普及啓発を継続的に行うとともに、計画的な献血者の確保をはかるための献血推進運動を実施した。また、献血時に骨髄バンク登録もお願いし、新たに41名の方が登録された。</p> <p><令和4年度献血及び骨髄バンク登録者実績> 実施回数: 20日間(23回) 実施場所: 国際交流会館 3回 シミズふないの里 2回 京都中部総合医療センター 2回 明治国際医療大学 2回 マルホ発條工業(株) 2回 京都建築大学校 2回 日吉はーとぴあ 2回 市役所美山支所 1回 ジャトコ株式会社 2回 京都府園部総合庁舎 2回 南丹警察署 2回 湖池屋京都工場 1回</p> <p>献血受付者:791人 献血実施者:689人(R3年度 751人) 骨髄バンク新規登録者 :41人(R3年度 48人)</p>	<p>赤十字血液センターの採血車による献血を18日間、20箇所で開催。このほか、全国的に展開される「愛の血液助け合い運動」や「はたちの献血キャンペーン」等と合わせて、広報紙等を通じて効果的な普及啓発活動を実施予定。</p> <p><令和5年度移動献血実施予定> 4月21日 国際交流会館 10月24日 京都建築大学校 5月15日 明治国際医療大学 11月日未定 美山ふるさと祭 6月22日 京都建築大学校 11月28日 明治国際医療大学 8月23日 国際交流会館 12月22日 国際交流会館 8月日未定 マルホ発條工業(株) 1月29日 ジャトコ株式会社 9月7日 ジャトコ株式会社 1月31日 園部総合庁舎 9月26日 園部総合庁舎 2月日未定 マルホ発條工業(株) 9月日未定 南丹警察署、 2月日未定 南丹警察署 湖池屋京都工場 3月28日 日吉はーとぴあ 3月日未定 シミズふないの里 京都中部総合医療センター</p>
食育推進事業	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. CATVで食育啓発⇒食育番組「おいしく・たのしく・ごちそうさま」で地域や保育所での食育の取組、レシピの啓発などの情報を月1回放送</p> <p>2. 広報での食育啓発⇒「食は人づくり まちづくり」2カ月に1回掲載(CATVの内容と連動させ紙面からの啓発をおこなった)</p> <p>3. 「健幸食育レシピコンテスト」事業を地域と連携して実施 市内小学校4校・中学校4校より応募 応募数:393点の応募(小学校部門110点・中学生部門283点)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室で栄養指導実施 (個別指導 延1,088人、集団指導 延116人)</p> <p>2. 市民健診結果報告会、骨粗しょう症健診時に個別で栄養指導実施 (延351人)</p> <p>3. 食事診断・食習慣アンケートの実施と今後の課題 ⇒野菜を1日350g以上摂取する者の割合21.8% 塩分摂取量 男性1日10.9g、女性10.2g (目標:男性7.5g未満、女性6.5g未満) 今後も減塩についての取組み、啓発が重要である。</p> <p>4. 食生活改善推進員育成研修⇒5回47名参加</p> <p>5. 食育の啓発 健幸おやつレシピ作成(年4回発行:乳幼児健診、健康教育、健幸アンバサダー通信等で啓発:3396人) ライン、ホームページ、保健医療課前黒板においても啓発</p>	<p>◆食育の取り組み</p> <p>1. 食生活改善推進員育成研修・・・会員が健幸なまちづくりを目指し、地域での食育活動を実施できるよう育成研修を年3回計画実施</p> <p>2. 「食育レシピコンテスト」事業の取組みで、地域・学校・各団体と連携し実施(テーマ①朝ごはん野菜レシピ②和食健幸レシピ)</p> <p>3. 「健幸レシピ」の発行(年4回)</p> <p>4. 「免疫力をUPするレシピ」のライン配信(金曜日:11:30)</p> <p>◆栄養業務</p> <p>1. 特定保健指導・重症化予防における栄養指導の実施</p> <p>2. 食事診断の実施(バランス、塩分摂取量、野菜摂取量確認)</p> <p>3. フレイル予防(低栄養予防)のための栄養指導</p> <p>4. 乳幼児健診、子育て相談、離乳食教室、すくすく教室での栄養指導(個別指導、集団指導、訪問指導)</p> <p>5. 地域からの依頼による出前講座(サロン等)</p> <p>6. 食生活改善推進員育成研修(年3回開催予定)</p> <p>7. 食生活改善推進員との連携調整を随時行う</p> <p>8. 保育所栄養士、小中学校栄養教諭との連携</p>